

対応機種、対応OS

対応機種	iPhone XR、11、12、13、14、15、16、17、SE2、SE3
対応OS	iOS18、26

Sound One アカウント連携

連携に必要な情報	メールアドレス、アクセスキー（Webアプリから取得）
----------	----------------------------

収録機能

収録（共通）	位置情報（GPS） 加速度 OBD セルフタイマー アライメントガイド	サンプリング周波数 50 Hz（約1 Hzのデータを補間） 移動軌跡、速度、収録開始地点を記録 サンプリング周波数 50 Hz Gフォース（X、Y、Z方向）、姿勢（ピッチ、ロール、ヨー）を記録 サンプリング周波数 50 Hz（1 Hzのデータを補間） 9項目を記録（エンジン負荷計算値、クーラント温度、燃料圧力、吸入管絶対圧力、エンジン回転速度、車速、進角、吸気温度、空気流入量、スロットル開度、EGR 制御値、EGR エラー率、エバポパーズ制御指令、燃料残量、エバポパーズシステム圧力、大気圧、ECU 電圧、外気温、絶対スロットル開度B、絶対スロットル開度C、アクセルペダル開度D、アクセルペダル開度E、アクセルペダル開度F、スロットルアクチュエーター指令の中から9項目を選択）、しきい値設定可 スタート：OFF、10 s、20 s、30 s、1 min ストップ：OFF、10 s、20 s、30 s、1 min、5 min、10 min ピッチ、ロール
収録（音声）	最大収録時間 サンプリング周波数 量子化ビット数 マイクロホン 最大チャンネル数 コーデック ファイル形式	30 分 48000 Hz 16 bit 端末内蔵マイク、外部接続マイク（有線接続のみ対応） 2 チャンネル（使用するマイクに依存） Linear PCM（非圧縮） WAVEファイル（.wav）
収録（動画）	最大収録時間 フレームレート ズーム コーデック ファイル形式 オートフォーカス 自動露出調整 手ぶれ補正	10 分 1、5、10、20、30 fps（機種により制限あり） 0.5～10 倍（0.5 倍は広角カメラ搭載機種のみ対応） ビデオ：H.264、オーディオ：Linear PCM（非圧縮） MOVファイル（.mov） 可 可 可
設定項目	校正值 校正単位 0dB基準値 自動ロック無効 低負荷モード 設定初期化	任意（下マイク、背面マイク、前面マイク、外部接続センサーそれぞれで値を保持） Pa/FS、EU/FS 任意 自動ロックを無効にする／しないを選択可 可（モニター非表示） 可
時間軸波形表示	時間軸波形 振幅拡大率 RMS（実効値）	4 秒分表示（1024点ごとの間引き表示） 1～10 倍 40960 点毎（時定数なし）
FFT解析表示	表示周波数範囲 フレーム長 窓関数 グラフ表示	0 Hz～10000 Hz 4096 点（周波数分解能：11.71875 Hz） Hanning 周波数軸：リニア、ログ スペクトルレベル軸：ログ（0.0001～10000）、dB（-20～140 dB） カーソル種類：ピークカーソル、サーチカーソル ピーク周波数表示 サーチエンハンス（分解能 約200倍） 時間重み表示

再生機能

再生	再生、停止、再生位置変更（カーソル移動、5秒戻る、5秒進む、最初から）、GPS移動軌跡表示、速度表示、Gフォース表示、OBD表示
ファイル情報	校正值（編集可）、0dB基準値（編集可）、センサー名、OBD2アダプター名、コメント（編集可）、手ぶれ補正ON/OFF、収録場所を地図上に表示、収録アプリVer.
時間軸波形表示	収録機能と同じ
FFT解析表示	平均結果表示 データ全体（オーバーラップ 75 %） ピーク保持表示 データ全体（オーバーラップ 75 %） その他は収録機能と同じ
キャリブレーション	指定センサーに測定値と目標値から計算された校正值を適用
Sound One連携（※）	Sound Oneにファイルをアップロード（すべてのネットワーク、Wi-Fi接続時のみアップロード）
ファイル共有（※）	AirDrop、他のアプリへの共有、ファイルストレージへの保存
音声出力	内蔵スピーカーのみ（イヤホン、Bluetooth出力非対応）

※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。

ファイルリスト

表示項目	ファイル名、録音時間、ファイル容量、収録場所の住所
ファイル操作	ファイル名変更、ファイル削除
ファイルインポート	Sound One Recorderで収録したファイルのみインポート可
収録場所の地名取得	GPSを許可して収録したファイルのみ取得可
Sound One連携（※）	再生機能と同じ

ファイル共有 (※)	再生機能と同じ
※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。	